

オヤマリンドウ

Gentiana makinoi Kusn.
リンドウ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内では稀産種で、現在知られている生育地は1山域のみである。

分 布

中部地方以北の亜高山帯に分布する。県内では奥越地方で確認されている。

種の特徴

亜高山帯の湿原や草地に生える多年生草本。日本の特産種である。葉の形は広披針形で、10～20対が互生する。根茎は太く、株から複数の茎が直立し、高さ60cm程度となる。茎の先端部に、長さ2～3cmの複数の濃紫色の花をつける。花期は8～9月。

生育を脅かす要因

局地的な分布をする種で、生育環境が脆弱であるため、環境の変化により生育が脅かされる。また、温暖化や自然遷移の進行も生育を脅かす要因となる。

参考文献 北村四郎ほか（1957）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	

ミヤマリンドウ

Gentiana nipponica Maxim.
リンドウ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内では稀産種で、現在知られている生育地は1山域のみで、個体数も少ない。

分 布

北海道～本州（中部地方以北）に分布する。県内では奥越地方で確認されている。

種の特徴

高山の湿った所に生える多年生草本。茎は基部が長く這い、茎先が立ち上がり、高さは5～10cmになる。茎はやや赤紫色を帯びる。葉は茎に対生し、葉の形は小型の卵状長楕円形で、やや厚め。花期は7～9月で、茎の上部に青紫色の花を4個ほどつける。

生育を脅かす要因

局地的な分布をする種で、生育環境が脆弱であるため、環境の変化により生育が脅かされる。また、温暖化や自然遷移の進行も生育を脅かす要因となる。

参考文献 佐竹義輔ほか（1981）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	

アイナエ

Mitrasacme pygmaea R.Br.
マチン科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

湿地の開発などによる生育環境の消失や悪化により減少している。

分 布

本州～九州に分布。県内では嶺北地方の一部及び嶺南地方の一部で確認されている。

種の特徴

日当たりの良い暖地の低湿地に生える小さな一年草。茎は短く、花茎を除いて高さ0.5～1cm、葉は2～4対付き、長さ7～15mm、幅3～6mm。8～9月頃、茎頂と葉腋から高さ2～10cmの花茎を1～3本伸ばし、1～3段になって3～15個の白色の花を散形状に付ける。

生育を脅かす要因

湿地開発や植生遷移等による生育環境の消失や悪化。

参考文献 佐竹義輔ほか（1981）、福井県自然保護課編（2004）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○										○	○				○